

第 28 号

2019年7月8日
(令和元年7月8日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8217
奈良市橋本町3-1
きらっ都・奈良内NARAEGG 気付

地元ベストセラー『奈良百寺巡礼』！5月に重版出来



県文化教育記者クラブで (4/18)

本年4月18日(木)、奈良県庁の文化教育記者クラブで、当会が執筆した『奈良百寺巡礼』(京阪奈新書)の記者発表を行いました。

当日は本書編集委員のほか、編集者の加藤なほさん(京阪奈情報教育出版)も出席。記者からはたくさんの質問をいただき、多くの新聞に掲載していただきました。

(専務理事 鉄田 憲男)

5月4日～6日に記念イベント



出版記念講演会 (5/4)

出版を記念して大型連休中の5月4～6日には啓林堂書店奈良店で記念講演会、また6日には講演後、興福寺境内をガイドしました。

啓林堂書店でベストセラー独走

本書は発売当初から「すべての寺が見開き2ページにまとまっているので、読む気になる」「文章がこなれていて、とても読みやすい」「地図やDATA欄が親切」と大好評いただいています。



啓林堂書店奈良店で (5/7)

啓林堂書店奈良店では、新書部門で売り上げ1位、そのあと総合1位になるとともに、同書店全店で売り上げ1位を記録しました。

本書で紹介したお寺からも「受付で販売したい」という声をいただき、多いところでは80冊から100冊も仕入れていただきました。

出版記念会を開催

本書の発刊を記念して、4月26日(金)には、京阪奈情報教育出版社長の住田幸一さんと加藤なほさんをお招きして、出版記念会を開催しました。



挨拶される加藤さん (4/26)

編集者・加藤なほさんのコメント

皆さま、ご出版おめでとうございます！昨年11月から制作がスタートし、115カ寺も掲載寺院があるなかで、わずか4ヵ月という短期間で校了できたのも、皆さまのポテンシャルの高さとチームワークがあつてのことだと思います。

その勢いそのままに初版3,000部は1ヵ月半で在庫がなくなり、重版出来となりました。「奈良の出版社でベストセラー本を作りたい」ということが夢でした。小さな出版社の悲願を叶えてくださった皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。

現地ガイドや講演で奈良を語ることができるソムリエの皆さまには、学ぶことが多いです。奈良のクリエイトを楽しむ1人として、今後も一緒にお仕事ができると嬉しいです。



第1回編集委員会 (昨年11/15)

「令和元年度通常総会」を開催



保山耕一さんのトーク (6/16)

6月16日(日)、当会は奈良ロイヤルホテルで、今年度の総会を開催しました(出席者163人)。

総会のあとは映像作家・保山耕一さんの「トーク&上映会」(出席者164人)。素晴らしい映像と真摯なトークに、会場は感動の渦に包まれました。



懇親会(来賓を含め72人出席)では京阪奈情報教育出版の住田幸一社長に、来賓としてご挨拶をお願いしました。



住田社長の来賓挨拶(同日)

県指定文化財の調査結果を発表

6月20日(木)、県文化教育記者クラブで、保存継承グループが平成29年7月～本年4月に実施



記者会見の様様(6/20)

した県指定文化財の「災害対策等現況調査」の結果を発表しました。

発表のあと、県地域振興部長の山下保典氏に「奈良県指定有形文化財の保存に関する要望書」を提出しました。



地域振興部長に要望書提出(同日)

そこには、①県指定建造物を対象とする耐震診断の実施②過疎地域で管理が行き届かない仏像などの収蔵・展示施設の設置③消防機関への通報直結推進と住民参加の文化財防火デー行事④獣害などの対策強化、の4点の要望を明記しました。



部長室で要望の概要を説明(同日)

万葉集にちなんだ講演とツアー

新元号「令和」が万葉集の詞書から取られたことを受け、全国的

に万葉集がブームになっています。これを受け当会では7月以降、東京と奈良で万葉集に関する講演会を開催するとともに、秋以降にはJR万葉まほろば線(桜井線)を使ったウォーキングツアーを企画しています。



万葉講座の説明会で(6/9)

そのため、当会の講師経験者に呼びかけ、6月9日(日)、万葉講座に関する説明会を開催しました。

万葉集や万葉仮名に詳しい米谷潔さんの説明を受けたあと、各講師の分担などを決めました。

追って日程をお知らせいたしますので、会員の皆さんも、奮ってご参加ください。

「奈良の民俗文化」勉強会を開催

当会啓発グループ主催の自主勉強会、4～6月は帝塚山大学文学部教授の高田照世さんによる「『奈良山里の生活図誌』より」「正月行事と盆行事」「先祖信仰と墓制」。参加した皆さんは、とても熱心に聞き入っていました。



帝塚山大・高田照世教授(4/6)

シリーズ「サンスクリット語」

サンスクリット語について



サンスクリット大学 in ベナレス

紀元前 1500 年頃、中央アジアの遊牧民であったアーリア人が北インドに入り、サンスクリット語を使いました。彼らが創作したインド最古の神への讃歌集『リグ・ヴェーダ』は今もインド人と大変崇拝されています。私も『リグ・ヴェーダ』の素晴らしさに心酔し、サンスクリット語を始めました。これは 10,462 詩節、153,826 語ありますが、神聖さを

重んじ正確に暗誦され、文字のない時代から今日までの何千年もの間、正しく伝わってきました。

現在も「パンディット」という暗誦に精通した職能人がいて、普遍的真理の源である古典書を記憶することは全人類への責務と考えているそうです。インドのネール首相曰く「サンスクリット語はインドの宝のみにあらず、人類の宝である」と。私ごとで恐縮ですが、昔箱根のホテルでネール首相に出会ったことに深い縁を感じています。

サンスクリット語は仏教を通して日本文化に多大な影響を与えてきました。大乘仏教国の日本の經典は、サンスクリット語を中国で漢訳されたもので、音訳が多く意味は分かりにくいです。原典



ネール首相

からの訳が大事かと思えます。仏像も語源はサンスクリット語で、それを知れば仏像への祈りも深まると思えます。日常語にも仏教を通してサンスクリット語が入ってきています。また先日、テレビで大嘗祭に天皇が「ボロン」というサンスクリット語の種字（一字金輪）を唱えられてきたと放映されました。このようなサンスクリット語について微力ながら伝えたいと思っています。（平越 真澄）

シリーズ「うまいん奈良」

瀬ホテル



瀬ホテル本館(奈良県有形文化財指定)

創業 100 年以上の老舗旅館を受け継ぎ、2013 年 6 月に食堂・喫茶として新たな歴史を刻み始めた「瀬ホテル」は、“三國にまたがる聲やほととぎす”と詠まれるように、奈良、三重、和歌山

の三県が複雑に入り組む国の名勝・瀬峡に面して本館の建物を構えます。

大正 6 年、山で切り出した材木を筏に乗せて運ぶ筏師のための宿が始まりで、昭和初期に瀬ホテルと名前を改め観光旅館として親しまれていました。戦後、周辺の宿屋が取り壊されるなか、唯一瀬ホテルだけが当時の筏宿の風情ある姿を伝え、現在に至ります。

店内は古い建具や調度品などが大切に残され、懐かしさと新しさが感じられる、ノスタルジックでモダンな空間です。

断崖に佇む瀬ホテルの魅力は、なんとといっても全席が瀬峡に面した、ゆったりとした贅沢なレイアウト。眼下に広がる溪谷美を眺

めながらのランチは最高です！ドリンクやスイーツのメニューも充実しているので、ティータイムとしても気軽に利用できます。



特製ハヤシライスの人気メニュー

奈良県吉野郡十津川村神下 405

TEL : 0746-69-0003

営業時間 : 11:30~

(売り切れ次第閉店)

定休日 : 毎週水曜・木曜

(道崎 美幸)

災害対策等現況調査(保存継承 G)

◆はじめに

保存継承グループは 2017 年 7 月から今年 4 月まで奈良県指定文化財を対象に「災害対策等現況調査」を実施しました。調査の概要、結果まとめ、参加者の感想を報告します。

◆調査の概要

(1) 趣旨

県内の有形文化財を後世に引き継いでいくため地震、防火、獣害・シロアリ等の各対策はどのような状況にあるのかを、県指定の建造物、彫刻にしばって調査しました。対象社寺が国宝・重文も所蔵の場合は併せて行いました。

(2) 対象

県指定文化財 557 件のうち、建造物は 118 件 (191 棟)、彫刻は 104 件の計 222 件 (今年 4 月 1 日現在)。今回、建造物 88 件 (120 棟)、彫刻 64 件の計 152 件を調査しました。(対策が比較的充実している世界遺産登録社寺分、彫刻で立体でない能面など 34 件は対象から除外。協力を得られなかった社寺などの分は 36 件でした。)

(3) 調査先

県内 39 市町村のうち、対象の建造物、彫刻がある 30 市町村 (12 市 10 町 8 村) の 125 カ所。内訳は寺院関係 71、神社 29、住宅など 25。=5 ページの市町村別集計表参照

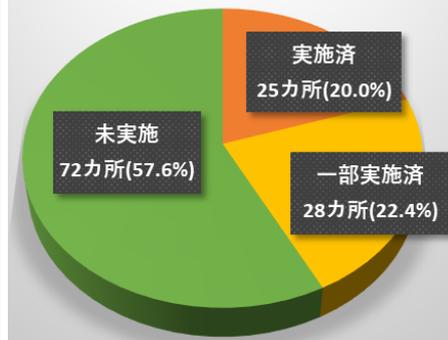
(4) 実施手法

通算 43 日、125 カ所で延べ 507 人 (実人数 16 人) が参加。原則として 1 カ月 2 組 (平日組、土・

日組)、各 3~5 人で訪問し、関係者から聞き取り調査。メンバーで評議後、記入者が調査票を作成しました。(全調査票は当会ホームページの「活動報告」にアップしています。)

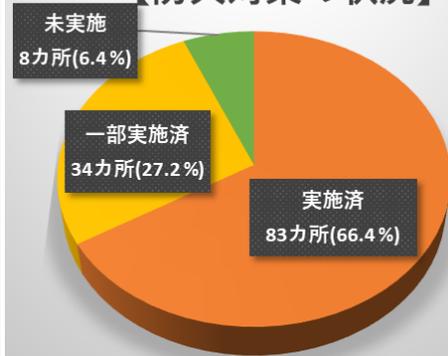
◆結果まとめ

【地震対策の状況】



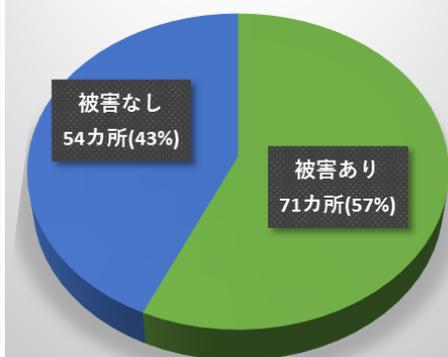
※実施済は県指定建造物の場合、県指定彫刻を安置する本堂などの場合とも原則として屋根瓦の軽量化、筋交い材の設置で判断。

【防火対策の状況】



※実施済は原則として消火器、火災感知器、火災報知機を備えた場合に判断。

【獣害・シロアリ等の対策の状況】



➤ 地震対策

①建造物の場合、耐震化工事によって文化財の構造・仕様に手を加えることに関しては所有者の判断が分かれました。

②彫刻の場合、台座の下などに免震装置を設置している事例はありませんでした。

③地震でどれだけ揺れに耐えられるか分からず、耐震診断を希望する社寺がありました。

④県指定建造物に対策を講じる際、過疎地区などでは所有者負担分の調達を困難とする社寺が多数ありました。



広陵町の正楽寺観音堂。堂内に仏像(県指定文化財)を安置し、外壁に耐震の筋交い材を設置(2017年8月)

➤ 防火対策

①実施済が多かったが、消防機関に通報が直結されているケースはわずかでした。

②定期点検を対象とした行政からの補助金について、炎感知器は対象外で現状に対応できていないケースもありました。

➤ 獣害・シロアリ等の対策

①被害があった 71 カ所で最も多かったのはシロアリ被害で、過去

または現在で 36 カ所に上りました。次いでアライグマ被害 25 カ所、スズメバチ被害 11 カ所など（重複あり）。

②アライグマ被害が甚大だったのが大和郡山市の県立大和民俗公園内の移築民家。県指定の 7 棟のうち 6 棟で被害がありました。



大和郡山市の大和民俗公園内の旧吉川家住宅（県指定文化財）。茅葺屋根にアライグマによる穴が（2018年8月）

※結果まとめを踏まえ、6月20日に報道発表するとともに、文化財保存を担当する県地域振興部に4項目の要望書を提出、今後の施策の参考にしてもらおう求めました。=2ページ参照

◆調査を終えての感想

調査に参加して、日々文化財に関わっておられる方々のお話を伺うことにより、災害対策だけでなく文化財を守るための色々な苦勞を知ることが出来、微力でも応援したいと思いました。

（大谷巳弥子）

山間部や過疎地には無住寺や廃寺が多くあり、地元の人たちにより貴重な堂宇や仏像が守られています。高齢化が進む中、この信仰の心を次世代にいかにか引き継いでいくかが大切、と痛感しました。

（小倉つき子）



生駒市の圓證寺で就職（中央）から話を聞く調査メンバー（2019年2月）

事前に調査趣旨を通知して訪問しても、最初は構えておられた先が、次第に打解けて、本音の話が聞けたときは調査の醍醐味を感じました。短時間でも話題を共有できたことは収穫だと思っています。

（亀田 幸英）

県指定文化財の実態を追ってきましたが、終了してみると人口減少による地域力の低下が印象に残りました。先人が残してくれた貴重な文化財の保存のため行政と民間のスクラムが重要と感じました。

（久門たつお）

限界集落という言葉がありますが、山間部の集落では無住化したお寺や、廃寺にあった仏像などが残され、住民が必死で守っておられる。場所によっては高齢化により消滅集落の危機に瀕し、無形文化財は勿論、有形文化財の保護も不可能になっていると実感しました。

（鈴木 英一）

文化財を守っておられる方々のお話を直接聞くという調査。大変地味なようで、実はとても魅力的でした。対象となる文化財が、自分の中で身近な大切な存在になっていく経験を何度もしたからです。

（中川 邦子）

災害対策等現況調査 市町村別集計表

【実施】	（単位：カ所）			
	寺院	神社	住宅	など
奈良市	33	23	5	5
大和高田市	3	1	1	1
大和郡山市	16	6	2	8
天理市	1	1	0	0
橿原市	4	2	0	2
桜井市	3	2	1	0
五條市	11	4	3	4
御所市	3	1	2	0
生駒市	2	2	0	0
香芝市	1	0	1	0
葛城市	2	2	0	0
宇陀市	9	6	3	0
山添村	4	1	2	1
山辺郡	4	1	2	1
生駒郡	2	1	1	0
三郷町	0	0	1	0
斑鳩町	1	0	1	0
安堵町	1	0	1	0
磯城郡	3	2	1	0
川西町	0	0	0	0
三宅町	0	0	0	0
田原本町	2	1	1	0
宇陀郡	0	0	0	0
曾爾村	1	1	0	0
御杖村	1	1	0	0
高市郡	0	0	0	0
高取町	1	1	0	0
明日香村	1	1	0	0
北葛城郡	0	0	0	0
上牧町	2	2	0	0
王寺町	4	4	0	0
広陵町	1	0	1	0
河合町	4	2	1	1
吉野郡	1	1	0	0
吉野町	1	1	0	0
大淀町	0	0	0	0
下市町	1	0	0	1
黒滝村	2	1	1	0
天川村	3	3	0	0
野迫川村	2	0	0	2
十津川村	0	0	0	0
下北山村	0	0	0	0
上北山村	0	0	0	0
川上村	2	1	1	0
東吉野村	2	1	1	0
計	【125】	71	29	25

調査実施 12市 10町 8村
なし 5町 4村

地域の文化財の多くは、地震や災害等への備えに対して手が回っていないように見受けられました。かけがえのない文化財が損失してしまわないような取り組みを行う必要性を感じました。

（仲谷 裕巳）

調査最初は、身構えて調査内容も調査項目に沿っての質問を中心でしたが、回数を重ねるごとに地域の方々の文化財を大切に守っていこうとする姿勢に熱い思いがひしひしと伝わってきました。

（橋詰 輝己）

対象先の多くが災害対策・保存に憂慮されていることを実感できました。今回の活動で文化財の現状を目の当たりにし、大変有意義な経験をさせていただきました。

（水間 充）

レアスポット

奈良春日野国際フォーラム庭園



ナラココノエザクラ

奈良春日野国際フォーラム薨〜I・R・A・K・A〜、と聞くと、全然レアじゃない！と思われるでしょうが、興福寺の四恩院跡と言われるこの庭園が、桜の意外な名所であることをご存知でしょうか？

3月下旬、数本あるエドヒガン

の大木を皮切りに、華やかな紅豊という品種や、奈良公園では珍しく鹿の食害のない（おかつぱではない）枝垂桜が開花します。

何と言っても圧巻なのは、園内の小高い所にあるナラココノエザクラが満開となる4月中旬。花吹雪や散り敷く花びらを、周辺観光地の賑やかさが信じられないほどの静かな環境で堪能することができるでしょう。次いでナラノヤエザクラ、緑色の御衣黄で約ひと月あまりの桜のシーズンは終わりを迎えます。

手入れされた庭園では、他にアセビ・モクレン・シャガ・スイレン・ツバキ等、四季の花を見ることができます。秋の紅葉も美しく、

水辺を散策したり、建物の窓越しに眺めたりして過ごせます。庭園側から広いガラスに映り込む景色を撮れば、ここならではの写真になるのではないのでしょうか。



秋の紅葉

このような場所が無料開放されているのは有難いことですね。訪れる私たちもマナーを守って楽しみましょう。（梁川 さやか）

シリーズ「鉄道スポット」

「奈良安全索道」の遺構

かつて、名阪国道「小倉」IC付近と「京終」の約17kmを結ぶ貨物用のロープウェイがありました。「奈良安全索道」と呼ばれたこの施設は、冷涼な気候の大和高原で作られる「凍豆腐」を奈良の中心部まで運ぶ目的で大正11年に全通。小倉・針・山田・天満・八反田・京終の6駅が作られました。凍豆腐以外にも木材や米を奈良に運び、逆に奈良からは材料の大豆や肥料・建材などを運んでいました。貨物用ですがワイヤーの保守や急病人の時に人が乗ることもあったようです。

ワイヤーを支える塔は開業当初の木製から、昭和に入って鉄製に替えられ、戦時中も供出されることはありませんでしたが、トラック輸送などの普及で需要が

減少し昭和27年に廃止となりました。

通常の鉄道と異なりレール跡等の地上設備がなく、そのため当時の遺構はほとんど見つけることができません。それでも小倉・針付近には鉄塔を支えたコンクリートの基台跡が。南田原地区の「天満駅」跡にはワイヤーの張りを調節する滑車が置かれた設備や事務所・倉庫跡などが残っています。



手前のコンクリートが滑車を支えた設備跡、奥が事務所・倉庫跡の建物

また、索道のルートからは離れますが「神野口」IC近くの「大和高原民俗資料館」には地元の方手作りの索道のジオラマや当時の写真、凍豆腐作りの道具などが展示されています。



「大和高原民俗資料館」のジオラマ、手前が小倉、奥が京終

個人で遺構を探すのは難しいので、時々開催される奈良市観光協会の廃線ツアーへの参加が当時を知る地元の方々のお話も伺っておすすめてです。

（小林 誠一）

新会員紹介①



書店でふと目に留まった「奈良まほろばソムリエ検定」の教本が、奈良ソムリエの勉強を始めるきっかけでした。書店で流し読みすると、聞いたこともない社寺や古墳がワンサカ。ちょうどリタイアの時期を迎え、リタイア後の生活設計を考え始めていた時期でした。これだ！「ポケ防止」「健康増進」の一石二鳥！すぐさま教本を購入し家に持ち帰りました。

それから三年間の試験勉強は、これまでのどの試験勉強よりも

楽しいものでした。「百聞は一見にしかず」と先ずは「行って見る」を重視しました。

御朱印帳を下げての社寺訪問では、数多くの国宝や重要文化財に加え、季節を彩る美しい花々や紅葉のお出迎えを受けました。また、古墳めぐりは、老化衰退を辿っていた知的好奇心を回復させ、想像力・推理力を自らに試す貴重な体験でした。系図や万葉歌を織り込んだ資料を作成し、同級生や親族を引率し訪ねました。自分で資料を作成し実際にそれでガイドをしてみると、記憶としてしっかりインプットされるので、試験対策としてたいへん有効だったと思います。

また、体験学習プログラムに三回参加させていただきましたが（いずれも講師は来村先生）、多

面的で、深く、それでいてストーリー性のある解説はとても新鮮で、奈良の魅力の伝え方の極意を教わったような気がします。

ソムリエの勉強は、今まで知らなかった奈良の魅力・素晴らしさの発見の連続でした。令和元年5月1日発行の記念すべき合格証明書をいただいたからには、「奈良の魅力を伝える伝道師」として、近鉄電車のポスターにある「わたしは、奈良派。」と言ってもらえる奈良ファンの拡大に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。

奈良を知り尽し、奈良に熱い情熱と愛情を持ったソムリエの会の諸先輩を手本とし、ソムリエの名に恥じない会員として一步一步成長していきたいと思っています。（藤田 道夫）

新会員紹介②



奈良県で生まれ育った私は、学生時代と遠隔地勤務合計約10年間他県生活を経験し、奈良県をより意識する様になっていました。

元々歴史好きで大河ドラマをよく見ていますが、大和・奈良時代がテーマの大河ドラマはありません。何故？の疑問と興味から奈良や大和をネット検索するう

ちに、「奈良まほろばソムリエ検定」のサイトに出会いました。

多少奈良の事を知っているつもりで試しに2級と1級の過去問を解いてみますと、実に難しい。ちなみに試しの1級過去問は全く出来ず、公式テキストや歴史散歩を購入し読み始めたのがチャレンジのきっかけでした。運良く2級、1級と順調に進み、この1月にソムリエ級試験を受検。4択は本会の講座で教えて頂きほどほどでしたが、200字問題は書上げ後、文頭近くで思惑のフレーズがすっぽり抜け落ちているのに気付いて全文を書き直しました。時計を見ると残りたった10分しか無く、最も大切な400字はぼろぼ

ろで悔いを残しました。「全文書き直し」という暴挙は、本当にだめな事を是非伝えていきたいと思っています。

さて、「大河ドラマに大和・奈良」の件、古代国家創世紀の大河ドラマ化こそ大和・奈良の醍醐味を味わえ、現代のゲーム世代の心をとらえ、大和を宣伝する糧となる気がします。

5年10年後には厩戸や讚良達が大河ドラマのディスプレイを賑わしている…そんな夢を現実化するには何が足りず、何が必要かな？など…奈良好きで奈良通の先輩方と他愛無い与太話が出来れば嬉しいと思っています。

（福岡 康浩）

新会員紹介③



広島で生まれ育った私が奈良に出逢ったのは、平城遷都 1300 年祭の年でした。その日、この地に一目惚れした私は、季節ごとに訪れるようになり、それが月イチになり、時には日帰りなんてことも(笑)。四季や朝晩で変わる景色を見つめ、落ち着くはずの神社仏閣に密かに心弾ませ歩き回り

ました。

その後、奈良検定の存在を知り、この「好き」を形にしてみたいと思い 2 級、1 級は広島から、ソムリエ級は奈良に移住し受験しました。

元々歴史や社寺が好きという訳でもなく、土地勘もなく、興味ある行事もその日に合わせて奈良に来るのは難しいし、奈良に関する本を読んでみてもなかなか覚えられない…。そんな自分の記憶力の無さに凹みながら、それでも勉強できる事は幸せでした。

戸惑った記述式で、特に 400 字では、未訪問の地を書くのは難しいと思い、出来るだけ行った事のある場所を増やそう！そしてその場所、点と点を繋いでコースを

描けるようになろう！更に出来る事なら自分が特に好きな場所、感動した事を書きたいと思いました。

そこで、今年私が選んだテーマは高畑です。新薬師寺の修二会をメインにしました。ご縁あって何度も訪れているお松明も、今にも動き出しそうな十二神将像も魅力的で好きなお寺のひとつです。

おかげで今年、執念の合格を果たせましたが、実はトータルで小学校を卒業できる位の時が...(笑)。

ただ好きと言うだけで知識はまだまだですが、移住して奈良が夢の地から生活の地になった今も、休日は旅人気分で奈良を楽しんでいます。それはきっと、これからも…。
(佐々木 むつみ)



奈良の魅力が奈良人が奈良から発信!! 京阪奈新書、あをによし文庫、奈良ガイド、自費出版 京阪奈情報教育出版

<編集後記>

5月から「令和」が始まりました。『万葉集』の第五巻「梅花歌」三十二首の序文中「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す」を典拠としたそうです。新しい時代も楽しめるソムリエの風にしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

(広報 G) 柏尾・梶尾・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・豊田(敏)・永井・中村・廣岡・二上・福岡・藤田・増田・松森・吉川



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8217 奈良市橋本町 3-1 きらっ都・奈良内 NARAEGG 気付

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記(ブログ)：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード